

# 高度経済成長と生活革命

物流博物館では、昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵していますが、これまでに約100本に及ぶ記録映像のデジタル化を完了しました。これを記念して、今年度はその中からテーマごとに作品を選び、上映会を月1回のペースで行っています。色彩や傷等を修復し、新たに甦った過去の映像をぜひご覧ください。



「こうして米は運ばれる」より



「新しい包装」より



「日通伊豆富士見ランド」より

2018年 **3月25日(日)**

第1回：10時30分～12時00分

第2回：13時00分～14時30分

第3回：15時00分～16時30分

※下記作品を1日3回上映します。予約は不要です。 ※参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

＜上映作品＞ ※すべてデジタルリマスター版による上映です。

## ①「こうして米は運ばれる」

1959年頃／カラー／31分／製作：産経映画技術研究所／企画：日本通運(株)  
内容：食糧庁・日本通運・旧国鉄が協力して行なっていた主食輸送の様子を紹介した作品。山間の村々、水郷地帯、豪雪地帯、離島など各地にロケーションを敢行した大作で、当時の政府米輸送のありさまが良く理解できる。

日本人の食生活を支えた米穀輸送、新たに登場した広告媒体・テレビCM、経済成長に伴う包装革命、「レジャーブーム」時代のレジャーランドの映像を通して、当時の生活をとりまく変化を「輸送」の観点から振り返ります。

## ② 昭和30年代CM特集

1950年代後半～1960年代初頭／白黒／計11分／企画：日本通運(株)  
内容：昭和30年代の宅配便の試み「日通便」CMをはじめ、デパート配送の「はと便」、5トンコンテナ、日通の業務紹介、年末輸送、日通旅行のCM計6本を上映。

## ③「新しい包装」

1964年／カラー／19分／製作：岩波映画製作所／企画：日本通運(株)  
内容：昭和30年代半ば頃から進展した新しい包装のあり方について紹介した作品。包装の近代化や標準化により、包装費や運送費が節減できることを強調しています。さまざまな実例を挙げながら、当時進行しつつあった包装革命の実際の様子を丁寧に描く。

## ④「日通伊豆富士見ランド」

1966年／カラー／14分／製作：日東エージェンツ(株)／(株)東北新社／企画：日本通運(株)  
内容：日本通運が開発した東洋一の総合レジャータウン・日通伊豆富士見ランドのPR映画。

【開館時間】 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】 毎週月曜日・毎月第4火曜日(これらが祝日・振替休日の場合開館)、祝日の翌日、年末年始、展示替等期間  
【入館料】 高校生以上200円／65歳以上100円／中学生以下無料  
\*団体20名以上半額

